

鶴見川出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所
鶴見・新横浜出張所発行
(代表) 鶴見出張所
電話045-501-3038
2014年03月10日【第12号】

鶴見川沿い(港北区・鶴見区)の桜マップを紹介します

港北区樽町や港北区新横浜などでは、桜の咲く時期に多くの方が花見を行っています。今回は、国土交通省で管理している区間(鶴見川河口～第三京浜橋梁)の桜マップを紹介します。

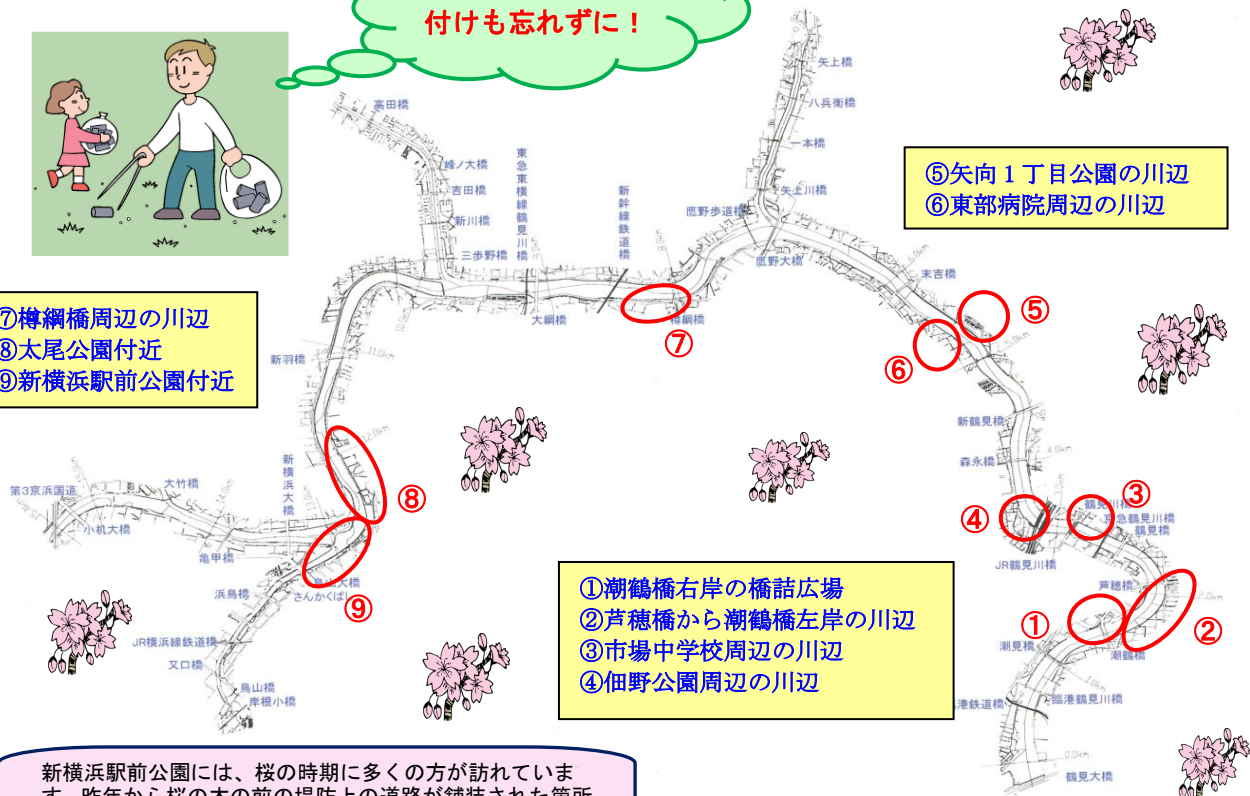
花見をされる方に参考にして頂ければと思います。花見の際には、『ゴミの持ち帰り』の、ご協力をお願いします。(②の地域では、堤防工事のため桜の木を移植しています。)

花見の後は、後片付けも忘れずに！



- ⑦樽網橋周辺の川辺
- ⑧太尾公園付近
- ⑨新横浜駅前公園付近

- ⑤矢向1丁目公園の川辺
- ⑥東部病院周辺の川辺



- ①潮鶴橋右岸の橋詰広場
- ②芦穂橋から潮鶴橋左岸の川辺
- ③市場中学校周辺の川辺
- ④佃野公園周辺の川辺

新横浜駅前公園には、桜の時期に多くの方が訪れています。昨年から桜の木の前の堤防上の道路が舗装された箇所が増え、水たまりが出来なくなり、喜ばれています。



鳥山川の三角橋下流側



樽網橋上流(樽町側)

鶴見川下流部堤防の波返し部分に海拔表示を行いました



鶴見出張所では、東日本大震災で甚大な被害をもたらした津波被害を踏まえ、津波被害を軽減するための対策（ソフト対策）として、鶴見川に架かっている JR 東海道線から下流部堤防の波返し部分に海拔表示を行いました。

記載箇所は、距離表示のある付近の 200mピッチで表示しました。

鶴見川では、平成 23 年 3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震で新横浜付近にある亀の子橋水位観測所まで津波が遡上したことが確認されています。

左の写真は、離れた箇所から撮影したものと近い箇所から撮影したものを付けています。

リバーシビックマネージャー鶴見川分科会を3月4日(火)に開催しました

京浜河川事務所には、『リバーシビックマネージャー』（RCMという）という制度があります。鶴見川下流部（鶴見出張所管内）と中流部（新横浜出張所管内）に登録している RCM の方が、3 月 4 日（火）午後、鶴見出張所会議室に集まり、合同の分科会を開催しました。（上流 4 名、下流 5 名登録）この分科会には、3 名の RCM の方と職員 4 名が参加しました。

最初に、鶴見川下流部で行われている液状化対策の工事を鶴見出張所長が紹介し、歩いて工事現場に行き、見学を行いました。

その後、出張所に戻り、平石指導官が『河川管理の話題と RCM 制度の今後について』の話題提供を行い、鶴見出張所長、新横浜出張所長が、工事や河川管理面での話題提供を行いました。

その後、RCM の方と活動報告とゴミや環境問題を含めた意見交換会を行いました。



会議室で関係者から話題提供を行い、その後、意見交換会を行いました。

参加者で工事現場の見学を行いました。



あ と が き

「鶴見川 出張所だより」を発行して 1 年になろうとしています。毎月発行している新聞（12 号）とテーマを持って作成した号外（7 号）の併せて 19 号の新聞を作ることが出来ました。

川沿いに住んでいる皆さんや河川利用者の方が、「どんなことを知りたいのかな？」あるいは、「これは知って頂きたいな」ということなど毎月考えながら新聞を作っています。

どうしても硬い記事、お知らせ記事が多くなってしまいますが、皆さんからのご意見など頂ければ幸いです。

また、来年度も毎月発行する事と鶴見川に係わるテーマを持って新聞を作っていきますので、よろしくお祈りします。

『鶴見川 出張所だより』編集長（上林喜美夫）

鶴見川流域センターは鶴見川の情報を発信しています

JR 小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

3 月は「防災再確認月間」として、2 階の展示ルームで『3.11 の復旧の取り組み』などの展示を行っています。流域センターの屋上からは、鶴見川多目的遊水地だけでなく、横浜ランドマークタワー、良く晴れて空気が清んでいると富士山や東京スカイツリーなども見ることができます。

是非、来館して鶴見川のことを学んで見ませんか。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町 2081

電話 045-475-1998

（鶴見川流域センター直通）